

チャペル週報

No.11

2012.6.18～6.22

互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリスト
によってあなたがたを赦してくださったように、
赦し合いなさい。

(エフェソの信徒への手紙 4:32)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 6月18日(月) 神 小 豆 さやか (神学部4年)
経 関西学院の歴史と校歌① 舟 木 讓 (宗教主事)
人 共に生きる⑩ 打 樋 啓 史 (社会学部宗教主事)
聖和 聖書物語「サムエルI」
-
- 6月19日(火) 神 <震災を覚えてSP>柳 谷 雄 介 (日本キリスト教団新生釜石教会牧師)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 春の音楽チャペル 聖歌隊
法 ボランティア活動報告 上ヶ原ハビタット
経 経済と人間⑫ (最終回) 根 岸 紳 (経済学部教授)
商 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 上 中 脩 (教育学部准教授)
総 K.G. Blessed Choir
-
- 6月20日(水) 神 岩 井 啓 (カナダ在住・日本キリスト教団隠退教師)
社 世界市民として生きる④ 佐 藤 哲 彦 (社会学部教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 English Chapel Andreas Rusterholz (文学部宗教主事・宣教師)
人 讃美歌を歌おう 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 長 谷 尚 弥 (国際学部教授)
聖和 「くまのテディ「ごめんなさい。ほくは いやな くまだった」」小見のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 「車いすと夢」松 本 尚 男 (兵庫県ポッチャ協会会長)
総 J-FUN Youth K.G.
-
- 6月21日(木) 神 平 本 紗 慧 (神学部M1)
文 Ruth M. Grubel (院長)
社 私のMastery for Service - 国連学生ボランティアとHeart on Coin “絆”プロジェクトを通して 中村 静香 (総4)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 関西学院の歴史と校歌② 舟 木 讓 (宗教主事)
商 音楽チャペル 聖歌隊
国 English Chapel 児 島 幸 治 (国際学部准教授)
聖和 「聖和で紡いできたこと そこから今」井上 理子 (PHD協会職員・聖和大学人文学部卒)
総 国際開発研究者協会 (SRID) 学生部
-
- 6月22日(金) 院 青 木 麻里子 (神学部M2)
神 川 崎 愛 (神学部M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 関西学院の歴史と校歌③ 舟 木 讓 (宗教主事)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
聖和 日 浦 直 美 (教育学部教授)
理 「前進のための後退」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
6月22日(金) 初等部のために 福 万 広 信 (初等部宗教主事)

大切な時間

山 泰 幸

縁があり、赴任して、9年目になる。国立大学の地味なコンクリートの建物のなかで学生時代を過ごしてきた私にとって、まるで絵画のような美しい関学のキャンパスは、この世のものと思えないほど魅力に溢れていた。

赴任が決まって、初めて関学の正門を入ったとき、右手に古ぼけた建物が見えてきた。ランバス・チャペルである。そっと扉を開けて、誰もいない静かなチャペルに入り、歴史を感じさせる椅子に腰を掛けて、しばらくもの思いに耽った。長い学生生活を終え、社会人として初めての職場で、このようなキャンパスで働けることの幸せを心から感謝したことを思い出す。その気持ちは、今も変わらない。

それから関学での生活のなかで、国立大学との違いをいくつも感じるようになった。一つは、学生がとても爽やかであることである。勉学面で優秀なことはもちろんのことだが、たいへんマナーがよく、コミュニケーション力に長けていることである。不器用でぶっきら棒な連中のなかで過ごしてきた私にとって、同じ学生とは思えないくらい驚いた。もう一つは、事務のスタッフのみなさんが、仕事ができるだけでなく人柄も素晴らしいことである。この間、どれだけ助けられたかわからない。この場を借りて、お礼を述べておきたい。

そして、私が最もびっくりしたのは、チャペル・アワーの存在である。厳しい授業スケジュールのなか、毎日30分の時間を確保することは至難のわざである。全国的に見て、このような大学は他にはないだろう。これこそ関学のゆとりであり、関学生を生み出す大切な時間である。心を落ち着けて、自分を振り返り、生きる意味について考える。そのような時間が確保されていることを、本当に素晴らしいと思う。そして、そのような時間がなかった自分の学生時代を思い出すと、関学生をとて羨ましく思うのである。

最近、地方に講演に行った際、地元で長年、奉仕活動に熱心に取り組んでいる年配の女性に出会った。彼女は自分も関学の卒業生であると告げて、チャペルの思い出を語られた後、こう言われたことが印象深かったので紹介しておきたい。「このような活動を続けてきたのも、いま考えてみると、“Mastery for Service”が私の中に生きているからだと思います」と。

(人間福祉学部教授)

●チャペル・オルガニスト（神戸三田キャンパス）募集

神戸三田キャンパスのチャペルを支える学生オルガニストを募集しています。オーディションに合格しますとオルガンの個人レッスンを受けることができ、理工学部か総合政策学部のチャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室、神戸三田キャンパス事務室（I号館キャンパス担当）で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。また、電子メールの添付ファイルでもFAXでも受け付けます。

☆募集要項、応募用紙がダウンロードできます。

ホームページ：関西学院大学 → 宗教センター → 学生団体の紹介
教学Webサービス：お知らせ

募集期間：6月4日(月)～7月5日(木)の事務室開室時間

募集説明会：6月21日(木)12:50～13:20、II号館101号教室

お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター

電話：0798-54-6018、FAX：0798-51-0922

E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：6月18日(月)～22日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●2012年度大学主催 春季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む（2010年度～2014年度）

と き：6月26日(火)9:00～10:30

と ころ：西宮上ヶ原キャンパス B号館303号教室

と き：6月26日(火)13:30～15:00

と ころ：神戸三田キャンパス II号館102号教室

講 師：西谷文和氏（イラクの子どもを救う会代表・フリージャーナリスト）

題 目：「戦争と原発～アフガン、シリア、福島を取材して～」

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

6月22日(金) 田淵 結（教育学部宗教主事、宗教総主事）

29日(金) 田淵 結（教育学部宗教主事、宗教総主事）

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月24日(日)10:00～11:00

関西学院会館ペーτζチャペル

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。